

平成 27 年第 2 回大崎市議会定例会一般質問発言通告書

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
1	2	佐藤仁一	1 過疎地域における振興策を問う (1) 国道 108 号オニコウベトンネル開通に伴う鳴子地域の 動線変化と資源の面的展開策 (2) コンパクトシティ・プラス・ネットワーク推進における 過疎地域のネットワーク基盤の整備構想策 (3) 地方創生と連動する担い手組織育成策 2 交流人口拡大による経済効果指標を問う (1) 定住人口プラス交流人口拡大策と地域経済安定策 (2) ふるさと納税制度の充実とネットワーク展開策 (3) 訪日外国人旅行者受け入れ基盤の振興策 3 学校拠点の協働実践の醸成策を問う (1) 新教育委員会制度における組織体質、執行姿勢につ いて (2) 市民協働のまちづくりにおける協働する力を培う教育 現場 (3) 小学校の統廃合が与える地域連携、協働の課題解決策 4 課題提起型から問題解決型市政運営の推進策を問う (1) 経営学的 PCDA サイクルから主題、探求、表現への展 開策 (2) 指定管理者制度やコミュニティービジネスへの人材育 成と環境策
2	26	大友文司	1 市民病院の施設について (1) 医療技術トレーニング施設の設置の考え 2 乳幼児ロタウイルスの対策について (1) 乳幼児をロタウイルス胃腸炎の重症化から守るために 3 放射能に汚染された牧草、稲わらの保管、管理について (1) 保管、管理の安全対策
3	1	佐藤仁一郎	1 市役所新庁舎及び総合支所建設事業について (1) 教育委員会、議場などほぼ全ての部署が新庁舎へ移るの か (2) 総合支所の空きスペースの活用策について (3) 総合支所の建設地、規模などの計画はどのように行うの か 2 地方創生、地域創生における総合支所の役割と位置づけに ついて (1) 地域拠点としての総合支所の機能・役割について (2) 総合支所長の役割と行政における位置づけについて (3) 総合支所対応経費 300 万円の使い方について (4) 支所における危機管理体制の確認について (5) 古川地域にも中学校単位で支所機能を設置すべき 3 地方創生における地域自治組織の役割と位置づけについて (1) 地域自治組織と行政の協働のあり方について (2) 総務省事業の集落支援員制度の活用はできないか 4 基幹公民館の指定管理の方向性について

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
4	24	青沼智雄	<p>(1) 教育支所と基幹公民館の分離は可能か</p> <p>5 三本木県有地利活用について</p> <p>(1) 宮城県三本木用地利活用検討会の状況、情報について</p> <p>(2) 周辺アクセス道路（市道多高田線）の工事進行計画は</p> <p>1 梅雨期を迎えて雨水対策は万全か</p> <p>(1) 市内全域での冠水地域への対策、点検は万全か</p> <p>(2) 急速に進む市街地住宅建築と雨水排水対策について</p> <p>2 地方創生と少子高齢化社会について</p> <p>(1) 地方創生を確立する中で、人口減少に歯どめをかけるために</p> <p>(2) 学歴社会と教育費負担の軽減策について</p> <p>3 地方創生と1次産業の支援策について</p> <p>(1) 人口減の中、水田を維持し、主食米消費の低迷に飼料米への転換と助成制度の継続を強く求めること</p> <p>(2) 山林資源の活用ときこり育成支援策を</p> <p>4 地方創生と人材育成について</p> <p>(1) 政府が打ち出した地方創生とは何を指すのか</p> <p>(2) 地方を支える人を育てる教育をしてきたらどうか</p> <p>5 地方創生とふるさと納税について</p> <p>(1) ふるさと納税の目指す目的は何か</p> <p>(2) 過熱する返礼品と納税者との交流について</p>
5	19	氏家善男	<p>1 圃場整備の促進について</p> <p>(1) 圃場整備予算の推移について</p> <p>(2) 現在計画されている地域</p> <p>(3) 今後の実施計画</p> <p>2 岩出山観光栗園の再生について</p> <p>(1) 現在の観光栗園についての所感</p> <p>(2) 栗園の再生計画</p> <p>3 学校再編について</p> <p>(1) 各学区ごとの懇親会の内容について</p> <p>(2) 再編計画の判断について（計画どおり進める判断に至っているのか）</p>
6	6	中鉢和三郎	<p>1 大崎市民病院本院における電子カルテ不正閲覧について</p> <p>(1) 6月10日付の河北新報27面に「電子カルテ不正閲覧」 「大崎市民病院委託事務員ら」との見出しが躍った。なぜこのような事件が発生したのか、大変遺憾に思う。患者のプライバシーを守るのは基本中の基本で、議論を待たない。市民病院が市民の負託に応えるためには、患者や市民との信頼関係構築が大切だ。しかし、今回の事件を受け、その信頼関係に大きな亀裂を発生させることになった。事件の経緯を明らかにし、原因究明、関係者の厳正な処分、再発防止に向けた対策を速やかに行い、市民に公表するべきと考えるが、所見を伺う</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			<p>2 公の施設の指定管理料の算定のあり方と第三者評価制度の導入について</p> <p>(1) 指定管理制度の導入から久しい。市内の公の施設の多くが指定管理で管理されるようになってきている。施設毎に指定管理料が定められ指定管理者へ支払われているが、施設ごとに年間収支差額に大きな開きがある。現在の指定管理料には過去からの経緯が色濃く反映しているようだが、制度が定着した今、公平性、客観性等を確保するために標準化された算定基準を定めるべきものと考えているが、所見を伺う。</p> <p>また、指定管理の評価に当たり、自己評価、行政による評価に加え、公平公正な立場の第三者の評価が必要と考える。既にいくつかの団体の先進的取り組みも見られるが、大崎市としての第三者評価制度導入に対する考えを伺う</p> <p>3 鳴子温泉地域の廃墟となっている元宿泊施設は撤去できないのか（空き家対策）</p> <p>(1) 空き家対策としての特措法、条例が出そろった。特に、過疎地や人口減少の進む地区では、空き家対策が喫緊の課題になっている。条例等の整備により、市民の空き家対策推進への期待が高まっている。</p> <p>これまでも数度にわたり議論してきたが、鳴子温泉の入り口に建つ幽霊屋敷のような廃墟と化している元宿泊施設は、今回の条例等の整備により、解体等の措置がとられるのか。</p> <p>周辺住民の不安感、観光客に対する悪いイメージ等々の払拭に向け、今後どのように進めるつもりか、所見を伺う</p>
7	3	八木吉夫	<p>1 街路灯整備について</p> <p>(1) 市街地の街路灯整備について伺う</p> <p>2 公共交通政策について</p> <p>(1) 民間タクシーのフル活用について伺う</p> <p>3 バイオマスエネルギーについて</p> <p>(1) 下水道を活用したエネルギー政策の考えを伺う</p> <p>4 子育て支援施設の充実について</p> <p>(1) 園庭の芝生化の考えについて伺う</p> <p>5 産業振興策について</p> <p>(1) 新たな工業団地構想について伺う</p>
8	9	木村和彦	<p>1 大崎市の産業施策について</p> <p>(1) 大崎市の観光の方向性</p> <p>ア 温泉宿泊客に対する助成制度の活用策</p> <p>イ 一過性の事業にならない工夫は</p> <p>ウ 新たな観光地の開発</p> <p>1) 加護坊パークゴルフ場、三本木新設パークゴルフ場、長者原サービスエリア、古代の里周辺等、温泉に頼ら</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
9	28	大山 巖	<p>ない観光施策の強化を。あまりにも温泉に頼りすぎでは</p> <p>2 市民要望と市長の約束について</p> <p>(1) 市長は市民との約束を守れるのか</p> <p>ア 各懇談会での市長の発言の重み</p> <p>1) 議会報告会で市長の話が異なる場合等</p> <p>イ 議会、住民懇談会、議会報告会等、住民要望のまとめは</p> <p>1) 地域や議会、執行部、教育委員会等の受けとめ方に温度差</p> <p>3 幼保一元化施設等民間活用について</p> <p>(1) 将来の運営形態、民間委託の考え方</p> <p>(2) 小学校統合で、理解の早い地域の優先策が必要では</p> <p>ア 進まない地域の統合問題と要望がある地域の優先順位の考え方は</p> <p>(3) 幼稚園の基本的な考え方</p> <p>ア 極端に少ない入園者数の場合の、幼稚園の統合などの計画は</p> <p>1 大崎市「20万都市」について</p> <p>(1) 観光交流人口確保の振興対策について</p> <p>ア 鳴子温泉観光、三本木のひまわり、松山のコスモス、田尻のマガン等は夏期観光客の集客が希薄であり、交流人口が期待できない。良好な観光行政がないものか、伺う</p> <p>イ 文化財の旧有備館が期待どおり開館する。観光客は以前以上の集客が期待できる。旧有備館の近所に大崎ブランドの物産品を売る店が少なく、行政施策での良い考えはないものか、市長に伺う</p> <p>ウ 本市の観光は他の自治体と比較をしても、全くと言っていいくらい目玉になるものがなく、せいぜい鳴子に依存している程度と言わざるを得ない。市長は観光に大変な力を入れているが、しかし、現在本市では家族連れで気軽に楽しめるレジャー的施設はなく、夏場の楽しみもない。観光行政は単に自治体のみで推進ができるものではない。観光には必ず観光産業が伴うものである。民間の協力をどう結集し得るかということも重要である。施政方針に基づき具体的なプランを明らかにし、市民が望んでいる観光行政に積極的に取り組み、市民の憩いの場、さらには子供の夢の膨らむ施設が必要だと思いが、市長の考えを伺う</p> <p>2 自然環境保全確保の対策について</p> <p>(1) 豊かな自然と生活環境を守っていくことは、我々ばかりでなく子々孫々のためにも重要なことであるが、開発の名のもとに自然環境が破壊されつつあるのも事実である。環境破壊のストップは地球規模での時代的要請である。21世紀への人権理念は自由権から社会権へ、したがって行政の基本理念も侵害行政から給付行政への</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
10	17	山田和明	<p>変化であると説かれている。そして、これからの人権理念は環境権であり、環境国家としての行政の基本理念は環境管理であるとも言われている。こうしたことを踏まえ、環境の保全のために必要な施策の総合的かつ計画的な推進を図り、実施することが義務づけられている。本市での取り組みの対策はいかがなものか、市長に伺う</p> <p>(2) 民有空き地の環境保全について、宅地を購入し、うちを建てないで空き地のまま放置されている所がかなり見られる。そこには雑草が繁茂し、野生の動物の住みかになる、また青年たちが遊ぶ格好の場所になり、空き缶やたばこの吸い殻が捨てられ、秋になると枯れ草によって火災発生の原因となり、周囲の住民は非常に不安を訴えている。そこで、空き地の所有者に対して草刈りを義務づける条例を設定する考えはないか、市長に伺う</p> <p>1 病院経営について</p> <p>(1) 市民病院の将来像を明確にするための新改革プラン策定について</p> <p>(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みについて</p> <p>(3) ドクターカー導入について</p> <p>2 救急搬送の体制の確立について</p> <p>(1) 救急隊による傷病者の医療機関への搬送状況について</p> <p>3 消防団の処遇改善について</p> <p>(1) 消防団の報酬額を地方交付税措置額の水準単価まで引き上げることについて</p> <p>(2) 出勤手当の引き上げについて</p> <p>4 市内の公園管理について</p> <p>(1) 公園の管理状況について</p> <p>(2) 公園で設置している遊具の点検、計画的更新について</p>
11	16	富田文志	<p>1 人口減少対策は市役所から</p> <p>(1) 職員の定員適正化に対する考え、合併後に進めた適正化計画の検証について</p> <p>ア 当初目標と中途変更の理由と成果について</p> <p>イ 正規雇用者と非正規雇用者を比較し、合併当初と現在ではどのように変化しているか</p> <p>ウ 本庁と各総合支所の職員配置数と業務量を比較し、合併当初と現在ではどのように変化しているか</p> <p>エ 本庁と各総合支所の機能分担の基本的な考えについて</p> <p>(2) 臨時職員と非常勤職員について</p> <p>ア 臨時職員と非常勤職員の違いについて</p> <p>イ 正規職員と比較し、業務や待遇面での違いについて</p> <p>ウ 非正規職員の待遇改善の必要性和手だてについて</p> <p>(3) 大崎市の雇用環境から見た人口減少対策について</p> <p>ア 若い世代の結婚、子育て環境整備について</p> <p>イ 若い世代が求める安定した雇用創出への取り組みについて</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
12	11	横山悦子	<p>ウ 雇用環境の改善と創出が人口減少対策の大きな一手になることについて</p> <p>エ 大崎市みずからが率先して正規職員と非正規職員との待遇差を改善し、民間企業に取り組みの方向性を示すことについて</p> <p>1 産前産後のサポートなど切れ目のない子育て支援を</p> <p>(1) 地方創生の中で位置づけられた「子育て世代包括支援センター」についてどう捉えているのか</p> <p>(2) 産後ケア、産前産後サポート両事業の問題点と取り組みについて</p> <p>(3) 子育て世代から選ばれる本市の対策、対応について</p> <p>2 東北新幹線沿線の騒音、振動問題について</p> <p>(1) 古川狐塚の測定地点における下り側の測定結果について、本市のこれまでの対応は</p> <p>(2) 大崎市環境基本計画にのっとり、どのようにアクションを起こしているのか</p> <p>(3) J R東日本、県、国への本市の基本姿勢について</p> <p>3 大崎市民病院について</p> <p>(1) 退院後の転院支援について</p> <p>(2) 大崎市民病院の駐車場確保について</p> <p>(3) 電子カルテ不正閲覧について</p> <p>4 大崎市民会館について</p> <p>(1) 大崎市民会館の外壁、雨漏り修理について</p> <p>(2) 駐車場の整備とロータリー撤去について</p> <p>(3) 安全対策のため、手すりの設置について</p> <p>5 職員へタブレット端末の配付について</p>
13	13	遊佐辰雄	<p>1 鬼首大柴山から花淵山までの縦走コースと登下山道の整備及びゴンドラリフトの復活活用と鳴子峡整備について</p> <p>(1) 大崎の宝として鬼首大柴山から花淵山までの縦走コースと登下山道の本格的整備をすべきではないか</p> <p>(2) 花淵山のスキールフト、ゴンドラを復活させ、観光客の大幅増加に結びつけるようにはできないのか</p> <p>(3) 鳴子峡遊歩道の全面通行に向けて、抜本的な対策を真剣に検討すべきではないか</p> <p>2 大崎市全体が崩壊しかねない指定廃棄物最終処分場建設に断固反対するとともに、放射能汚染物質対策について</p> <p>(1) 最終処分場が建設された場合、大崎市全体が危機的状況に陥ることを認識しているのか</p> <p>(2) 放射能汚染物質の量と汚染濃度は、正確に把握されているのか</p> <p>(3) 処理方法の再検討の行動を積極的にとるべきと思うが、どうか</p>
14	5	佐藤弘樹	<p>1 各まちづくり協議会での地域課題と政策反映状況</p> <p>2 市民若年層からの政策提案と協働手法</p> <p>3 障害者総合支援法の改正周知と就労継続支援事業所との連</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
15	23	豊嶋正人	<p>携支援策</p> <p>4 大崎市デジタル防災行政無線整備事業の進捗状況</p> <p>5 土砂災害警戒区域指定と固定資産税減免</p> <p>6 シティプロモーションの成果と誘客向上策</p> <p>7 アグリビジネス創出支援策と窓口体制</p> <p>8 みやぎ大崎観光公社と大崎市観光物産センターの職員体制</p> <p>9 鹿島台駅東まちづくり事業の進捗と地区提案の把握</p> <p>10 各保育所運営での課題対応</p> <p>11 大崎市民病院での個人情報漏えい問題と再発防止策</p> <p>12 地区集会所の修繕箇所把握と整備見込み</p> <p>1 社会保障と税の共通番号（マイナンバー）制度導入に伴う市長の所見と問題点の解決策について</p> <p>(1) 日本年金機構の個人情報流出問題を受け、2016年1月に運用が始まる社会保障と税の共通番号（マイナンバー）制度への逆風が強まっている。さまざまな個人情報と結びつくマイナンバーが今回のように流出すれば、影響が広範囲に及ぶとの不安が広がっているからだ。制度導入に伴う市長の所見を伺う</p> <p>(2) 自治体として番号制度にどう責任を持って取り組むのか</p> <p>ア 共通番号制度の運用に責任を持つのは国か自治体か</p> <p>イ 付番とカードの交付は法定受託事務だが、その他の業務は自治事務か</p> <p>ウ 住基法第36条の2で、市長村長は住民票に記載されている事項の漏えい、滅失及び毀損を防止するなど適切な管理のために必要な措置を講じる責任がある。マイナンバーで提供される住民情報について、提供先での漏えいや不正利用等の防止のためにどのような措置を考えているか</p> <p>エ 情報提供依頼を受けた際、自治体は住民情報を提供するか否かの判断に関与できるか（ストーカー事件等で問題になっている住民票の閲覧制限のある人の情報も提供せざるを得ないのか。危険性があれば提供を拒めるのか。番号法第22条と自治体の判断）</p> <p>(3) 下記の住民不安にどう対応するか</p> <p>ア さまざまな個人情報が「12桁の番号」をキーに名寄せ、突合されて一元管理され、国による国民の監視、監督、特定の国民の選別などに利用されるのではないかと懸念があるが、どうか</p> <p>イ 集積、集約された個人情報が外部に漏えいするのではないかと懸念や、本人が意図しない形の個人像が構築されたり、特定の個人が選別されて差別的に取り扱われたりするのではないかと懸念があるがどうか</p> <p>ウ 財産その他の被害への懸念として、「番号」や個人情報の不正利用または改ざん等により財産その他の損害を被るのではないかと懸念があるが、どうか</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
16	21	門間 忠	<p>2 放射能に汚染された稲わら、牧草の管理状況と指定廃棄物以外の処理計画について</p> <p>(1) 適切に管理されているか</p> <p>ア 6月2日付の河北新報記事によると、栗原市では前年同期より1,400トン以上減少との報道があったが、本市の状況はどうか。市外に搬出されたものはないか</p> <p>(2) 処理は一向に進まないが、どうするか</p> <p>(3) 最終処分場建設に対する市長の所見に変わりはないか、伺う</p> <p>1 宮城県立古川支援学校の狭隘化について</p> <p>(1) 昭和53年、県立金成養護学校古川分教室として旧古川市立志田中学校校舎内に設置され、昭和60年、県立古川養護学校として開校され、来年は開校30周年を迎える。</p> <p>開校当時の児童生徒数は、小学部、中学部合わせて59名、15学級でスタートしたが、平成5年に高等部が併設され、平成26年には小中学部95名、高等部92名の合計189名で、学級数も41と拡大してきた。開校当時の3倍の児童生徒数と、職員数も119名に増加している。</p> <p>この間、平成6年には、高等部の開設に伴い、RC2階建て1,598平方メートルの校舎が増設されているが、ふえる生徒数に対応するため、平成12年に2教室、平成21年には4教室のプレハブ教室を増設して対応している。結果として特別教室や体育館、校庭も不足し、教育環境の改善が強く求められる。</p> <p>県立学校とはいえ、大崎市内からの通学者は118人と63%を占めていて、ほかは大崎圏内各町からの通学者である。</p> <p>少子化の影響で普通学校の児童生徒が急減しているが、特別支援教育については、市民の理解が進み、入学希望者が平成31年度までは増加の傾向にあり、その後の通減も少ないとされる中で、古川支援学校の教育環境の整備についていかに考えているか、伺う</p> <p>ア 県教育委員会への働きかけは</p> <p>イ 大崎市として支援学校の教育環境整備へ向けて、予想される廃校となる教育施設の提供などを考えるべきではないか</p> <p>2 非常勤職員の待遇改善について</p> <p>(1) 任期つき非常勤職員の条例制定時期は</p> <p>(2) 号給制の考え方は</p> <p>(3) 最低年報酬をどの程度に設定するか</p>
17	15	相澤孝弘	<p>1 まちなか再生について</p> <p>(1) 計画と各事業の進め方や財政計画はいつごろの時期に示されるのか</p> <p>(2) 古川地域以外の地域活性化に向けた考えと取り組みは</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			<p>2 大崎市観光振興ビジョン策定について</p> <p>(1) 目的と各団体や地区の役割について明確に示せるのか</p> <p>(2) 観光客の意見はどのようなもので、地域の考えと差異がなくビジョンに示されると受けとめてよいか</p> <p>(3) 観光振興に市税投入の声が絶えないが、それ以外の振興策は</p> <p>3 塚目駅と周辺整備について</p> <p>(1) 地区の要望に対してどのような検討がなされているのか</p> <p>(2) 現在地での整備か、新たに新駅をつくるのか</p> <p>4 大崎市民病院が抱える諸問題について</p> <p>(1) 電子カルテ不正閲覧問題から失ったものと得たものは</p> <p>(2) 発覚後の対応と再発防止への取り組みは万全か</p> <p>(3) 内部で抱える問題はほかにはないのか</p> <p>5 学校施設の整備について</p> <p>(1) 建物の基礎付近や排水系統がふぐあいな学校の現状と今後の改修整備の進め方について問う</p> <p>(2) 屋根や外壁等の経年劣化による施設の改修は軽微な状況で行うべきではないのか</p> <p>(3) 駐車場等の舗装整備はなぜできないのか</p>
18	20	山村康治	<p>1 大崎市農業の現状と施策展開について</p> <p>(1) 集落営農組織化の現状と推進策</p> <p>(2) 飼料用米の作付状況と誘導策</p> <p>(3) 農地中間管理事業による集積状況と推進策</p> <p>(4) ささ結の作付状況と販売戦略</p> <p>(5) 収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）への加入対策と農家拋出金負担軽減策</p> <p>(6) アグリビジネス創出事業の取り組み状況と推進策</p> <p>(7) 農産物の海外輸出事業への取り組み</p> <p>(8) 食育（6月は食育月間）への取り組み、推進策</p> <p>2 公共施設整備について</p> <p>(1) 各種集会施設や公園等のトイレ整備を進めるべき</p>
19	18	後藤錦信	<p>1 「宝の都（くに）・大崎市地方創生総合戦略」の策定に向けて</p> <p>(1) 合併10年目を迎え、それぞれの地域ごとの現状検証について</p> <p>(2) 策定体制における庁内体制のあり方について</p> <p>(3) 地域毎の戦略の考え方について</p> <p>2 林業の振興について</p> <p>(1) 「大崎市森林ビジョン」の策定について</p> <p>(2) 産業基盤としての林道の維持管理と新たな整備推進について</p> <p>(3) 市有林事業の運営について</p> <p>ア 分収造林の現状について</p> <p>イ 指定管理者制度の導入による経営について</p> <p>3 過疎地域における情報通信対策について</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
20	4	氷室勝好	<p>(1) 携帯電話不感地域の解消について</p> <p>(2) 地上デジタル放送難視聴地域への支援について</p> <p>1 20万都市戦略推進事業について</p> <p>(1) 住宅施策としての地域の特性を生かした移住定住への施策等を展開し、定住人口等の拡大とのことであるが、具体策と施策の進行状況を伺う</p> <p>(2) 活力や賑わい・地域産業の振興等を思うに、若者定住促進の住宅施策が肝要と思われるが、所見を伺う</p> <p>(3) 転入者等への就職の誘導と、その支援策などの具体的な方策が重要と思われるが、所見を伺う</p> <p>(4) 新規起業者等への誘導と起業の実施に向けた支援策等の検討が必要と思われるが、所見を伺う</p> <p>2 林業振興について</p> <p>(1) 森林の多面的機能の維持向上を図る上での植栽や間伐材等による森林を育てる森林整備が必要であるが、取り組みの実態を伺う</p> <p>(2) 主伐後に再び植林を行い、森林資源の再生と循環的な木材の利用を図っていくことによって多面的機能の持続性が必要であるが、所見を伺う</p> <p>(3) 豪雨や地震等の自然災害対策としての治山事業の観点から、森林の再生保全と公益的機能回復に向けた取り組みについて伺う</p> <p>(4) 間伐材や林地残材の未利用資源の燃料等利用の推進策としてチップ化し、温泉施設であるさくらの湯の熱源として利用するシステムを今年度より本格稼働しているが、稼働状況とチップの消費量について伺う</p> <p>(5) 木質バイオマス利用の拡大、公共建築物の木造化の推進等が求められているが、今後の対応について伺う</p>
21	14	只野直悦	<p>1 未来を担う子供たちの教育環境の充実について</p> <p>(1) スポーツと音楽を通じた「心」の教育の充実</p> <p>ア 文武両道の部活動の推進と課題</p> <p>イ サッカー場や陸上競技場の整備</p> <p>ウ 大崎市民歌の制定</p> <p>2 自然と共生し、環境に配慮したまちづくりに向けた施策について</p> <p>(1) 蕪栗沼と周辺水田ラムサール登録10周年の総括</p> <p>(2) 校外学習や出前講座等の環境教育の現状と課題</p> <p>(3) 渡り鳥に選ばれたまちを国内外に積極的にPRする方策</p> <p>ア 蕪栗沼にライブカメラを設置する効果と実現</p> <p>イ 環境省にインフォメーションセンターの設置要望</p> <p>ウ 世界農業遺産登録へ向けた進捗状況</p> <p>3 交流人口拡大を目指すまちづくりについて</p> <p>(1) 国内交流の推進</p> <p>ア 姉妹都市との交流推進の基本的な考え方</p> <p>イ 大阪府田尻町との交流推進の進捗状況</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
22	10	加藤善市	<ul style="list-style-type: none"> リ 教育旅行等中学生の相互交流の考えは (2) 国際交流の推進 ア 大崎市議会日韓交流促進議員連盟の訪韓と本市の今後の対応 <ol style="list-style-type: none"> 1 幼稚園のあり方について <ul style="list-style-type: none"> (1) 入園児の減少対策 (2) 幼保一元化の考え方 2 平和教育としての子供たちの国際交流について 3 補助金と団体の育成について
23	27	佐藤 勝	<ol style="list-style-type: none"> 1 大崎西部地区熱回収施設等整備事業が現在地拡充に決定し、地元桜ノ目地区の振興策、ごみ減量化の推進等、6月15日に伊藤市長、管理者に要請があったが、地元住民の思いに行政はどう取り組んでいくのか 2 市民病院の電子カルテ不正閲覧を教訓として信頼される病院運営のこれからは。また、このことに対する謝罪と処分、調査報告書提供禁止等、病院のこれまでの一連の対応に問題はないのか 3 おおさき産業維新と1万人雇用機会の創出の公約について <ul style="list-style-type: none"> (1) 「大崎の米販売戦略会議」の構成メンバー、それまでの会議での結果、方向性、また「ブランド米基金」の創設等の提案、検討はなかったのか (2) 環境保全米の作付誘導（基準米からの）と、優位性を高めるための支援策を行政は考えないのか (3) 北原工業団地が来年3月末で造成工事の終了予定であるが、誘致企業へのアプローチ、トップセールス等はどう考えているのか。この団地は4.5ヘクタールと小規模であり、27年度施政方針に中規模団地の候補地を選定するとしたが、交通アクセスや造成費が安く済む13.5ヘクタールの古川小野新鶴巻地区が最適地と思う。これまでの答弁で、農振地域の除外に難を示しているようだが、この除外のための特区、農振見直し、県に見直し権限が移るようだが、市長は県とどう話し合い、担当にどう指示しているのか (4) 再生可能エネルギーのロードマップ作成とこの新産業をどう育てていくか、政策に一貫性がない。補助金頼みの事業では維新にはならない。市の独自策をどう組み立てるのか (5) 政策課が今年4月から鳴子温泉向山地区の過疎対策に加わってから市の熟度はどう変わったか。公表できる時期はいつか（行政のスピード感の欠如） (6) 国の交付金活用の今回の鳴子温泉郷宿泊助成事業と地元の温泉組合（観光協会）と行政の関係希薄、不満をどう立て直し、東の温泉番付横綱との一体化を図るべき
24	8	鎌内つぎ子	<ol style="list-style-type: none"> 1 定住人口をふやすための施策について <ul style="list-style-type: none"> (1) 子ども医療費を、通院を中学校まで無料にし、所得制限

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
25	22	木内知子	<p>をなくすことについて</p> <p>(2) 待機児童をなくすことについて</p> <p>ア 保育士不足解消のために、保育士への支援について</p> <p>(3) 千手寺周辺を子育てゾーンにし、保育所、児童館、子育て住宅や公園を整備するなどの魅力あるまちづくりについて</p> <p>(4) 学校図書室に専任の司書を全校配置することについて</p> <p>(5) 障害児保育の充実について</p> <p>ア 医療ケアが必要な保育所及び施設の充実について</p> <p>(6) 発達障害児・者や高次脳障害者等の専門医療体制の配置と充実について</p> <p>2 寝たきりゼロを目指す施策について</p> <p>(1) 回復期リハビリテーションの開設時期と診療内容について</p> <p>1 松山ふるさと歴史館の入館者増に向けた整備、充実を図ることについて</p> <p>(1) 正職員としての学芸員を配置することについて</p> <p>(2) 狭隘な企画展示コーナーの活用における酒ミュージアムとの連携について</p> <p>(3) 収納庫の拡幅について</p> <p>2 民具、農具の保存と活用について</p> <p>(1) 各地域で独自の保存、保管をしているが、劣化が進行しているものも多い。市として学校教育での活用の視点、農業遺産登録に関連した民具、農具との位置づけからも1カ所に集約した保存、展示を考えていくべきではないか</p> <p>3 道路標識の整備について</p> <p>(1) 高速道路から松山、鹿島台方面への誘導標識の整備をすべきではないか</p>
26	25	小沢和悦	<p>1 大崎市における「不正事件」について</p> <p>(1) 職員による規律違反が続く原因の一つに、大崎市が他市に比べ、「不正」を許容していることがあるからではないのか</p> <p>(2) 「処分」について</p> <p>(3) 入札等における予定価格、最低制限価格の「漏洩疑惑」</p> <p>2 大崎市の「指名停止」等処分について</p> <p>(1) 違反行為の程度と処分程度について</p> <p>(2) 業者への処分決定前の、憲法第31条が保障する事前の告知、弁解、防御機会について</p> <p>(3) 今般「指名停止」とした平成25年度入札執行のカントリーエレベーター新設工事談合事件について</p> <p>3 宮城県住宅供給公社への市営住宅管理代行等業務委託について</p> <p>(1) 委託によって、入居者に対しサービスや余分な負担が増えるなどの不利益なことが発生することはないということに間違いはないか</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
			<ul style="list-style-type: none"> (2) 宮城県住宅供給公社作成の「住まいのガイドブック」の配布は、これまでと異なることがあるからか (3) 改めて委託する理由と「委託料」の根拠について確認する 4 公共交通体制改善を願う住民要望に、できることから早急に応えることについて <ul style="list-style-type: none"> (1) 現在の市民バスを、色麻線同様乗りかえなしで市民病院にも行けるよう運行企業と協議することについて (2) 古川市街地で、通院、買い物、主要な公共施設等に行きやすい巡回型、循環型ワゴン車等の運行について関係企業、業界と協議することについて 	